神樹の会会報

No. 42
平成 9 年 7 月 18 日
発行所：神 樹 の 会
発行人：宮 脇 テル子

（事業所）
本部事務所（六甲作業支援センター内）
〒657 神戸市灘区備後町３丁目２番22号 ☎821-1533
六甲作業支援センター
〒657 神戸市灘区備後町３丁目２番22号 ☎821-1533
明芳デイサービス
〒654 神戸市須磨区大田町６丁目４－４ ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台４丁目４番45号 ☎782-9675
福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町２丁目２－12 ☎733-2477

第26回総会

去る六月十五日（日）午後一時三十分より神戸市勤労会館で第二十六回神樹の会総会が行われました。

総会において、新会長に正会員から宮脇テル子さんが選出されました。私たちは新会長のもと、障害児・者によりよい環境を求めて歩んでいきたいと思います。

総会において来賓の三名の方々から次のようなごあいさつをいただきました。（中の文）

又、会員による活発な意見交換がありました。（中の文）

来年秋に完成予定

平成四年から福祉五ヵ年計画を進めてきたが、前期が終わりほぼ九割を達成。二月に実態調査を行い、四月から後期五ヵ年計画がスタートした。東・中部に加え、西部在宅障害者センターを建設中で来年秋には完成の予定。皆さんのご理解とご協力をお願いしたい。

神戸市保健福祉局育成課長　吉岡崇

後期５ヵ年計画で…

高齢者に対してはゴールドプランが組まれ、各自治体で具体的施策が進められている中、障害者施策はまだ確立しておらず、未熟な状況にある。が、国が障害者七ヵ年ビジョンを示し目標が出されたのは前進と考える。神戸市も福祉五ヵ年計画が発表され具体的に展開されている。皆さんの要望に応えられるよう全力を尽くして努力する決意だ。

神戸市会民生保健委員会委員長　西下勝

進路確保にご尽力を…

学校の共通する課題は、
①医療的ケアへの対応。
②高等部の訪問教育設置。
③進路確保。
であるが、進路問題は前途厳しく、学校共々本会、市の育成課のご尽力を賜りたい。

垂水養護学校校長　川上博

Q．最近、会への入会が減っている。もっとメリットのある具体的な話がほしい。

A．何度も会を持ち考えてきた中、一つになることで心が安まる精神的意義と進路確保のための団結の必要性は確認している。平素から結束し、実績をあげ認めてもらうための努力の時と思う。すぐに結果が出るものではない。

Q．法人化を目指すのか。

A．市は明輪会イコール神樹の会とみている。法人化の動きもあるが、大きな問題なので即答はむずかしい。

Q．垂水作業所はどうなるのか。土地はあったのか。

A．市の予定している例えば老人いこいの家の空いた所などを考えているがわからない。市には要望しているが、何とかみつかるよう努力したい。

Q．来年、11人卒業するが、受け皿はあるのか。

A．受け皿のあるなしで入会を決めることに時代の流れを感じる。希望を出してもらい、一緒に考え、動いていくのが本当では。

Q．垂水養護学校の規約が変わったそうですが。

A．ＰＴＡ会長が即神樹の会副会長とは限らない。今年度は旧規約によりバザーは従来通りだが、来年のことはわからない。

A．バザー活動は、親として育ち、周囲を啓蒙していく。

A．東灘で親が土地探しから参加し、デイをつくった例もあり、子供が在校中に将来の行く場所をつくる。個人では何も出来ないので、本会を上手に利用すれば。

（会員総数	823）
出席	76
委任状	522
計	598

平成９年度重点目標

1．会員相互の絆を強め、共に生きる輪を広げよう。
2．身体障害児（者）の進路保障
①デイサービス事業の拡充・確保
②療護施設の早期実現
3．バザー活動の発展と充実

フレッシュなエネルギーを！

より大きな結束で…

この度の総会で会長として選出されました。水野先生六年間いろいろとありがとうございました。

現在、神樹の会は考えなくてはならない多くの状況がありますが、会員の皆様のお知恵をいただきながら、共に考えていきたいと願っています。設立当時の精神を現在に生かし、今まで積み上げてこられたことを基にして、障害児者の幸せのために、更なる努力をして参りたいと存じます。どうぞよろしくご協力ご指導賜りますようお願い申し上げます。

新役員です　どうぞよろしく！

顧問　水野整一　田中等
相談役　川上博　足立梅雄　長谷川隼彦　高内恒夫　石川敬　安原実　浜本允美　東郷賢治　望月秀雄　宮脇テル子　牧野一夫　谷良子　西原孚左子　堀之内広美　日高美恵子　池田恵子　松岡早苗　泉伸一　谷口成子　進元文枝　阡陌奈緒美　小野治子　北脇貞子　前川登美子
会長　池田稔
名誉会長　増田龍昭
副会長　山田福松　中川広師　岡本茂　原田由雄　高井寛　堀川静子　吉岡佑起子　矢野美知子
会計　大橋敬子　松岡幸代　植田洋子　矢川益美　黒田素美子　林恵理子
会計監査　西村洋子　中野祀子
事務局　室之園里子
局長　中元千鶴子
庶務　中川恵子　高木恵子　中杉年子　山住慶子　加藤千鶴子　柏原康子　伊塚イツ子　梅谷雅子　山内妙子　八幡頼秀　小黒直明　李晴美　佐藤耕寿　清水和代　西垣幸夫　西原孚左子　渋谷宏徳　鮫島ミツヱ　高木恵子　土居美千代　吉岡佑起子　進元文枝
幹事　牛村和子　佐伯幸子　米沢登美子　岸本よしの　大川民子　西山静代　塚本節子　原田恒美　磯村登三子　西村美絵子　辻野富貴　妙本喜三郎　伊藤弘海　工藤高行　市野美恵　田村久仁子　斉藤允己　小林公子　植田洋江
OB　垂水作業所所長　明芳デイサービス事業所長　六甲作業支援センター所長　垂水希望の家デイサービス責任者　福祉の店いたやど責任者　訓練教室室長
友生　垂水

先生のやさしさにふれて…

神樹の会顧問

水野先生にお聞きしました

神樹の会会長として六年間にわたりご尽力下さいました水野整一先生がこの度の総会において退任され、今後は顧問として私たちにお力を貸して下さいます。神樹の会の活動に情熱をそそいで下さった先生を囲んで、思い出やこれからのアドバイスをいただきました。

六年間を振り返って

水野　垂水養護学校に赴任してきた年に明輪会が生まれ、開所式での母親コーラスに感動しました。ホント日本一だと思ったよ。（笑い）風の強い日だったね。

司会　この六年間を振り返られてのご感想をお聞かせ下さい。

水野　一区を吉田会長、二区を牧野会長、三区を僕が走らせていただきました。今四区を希望の星である宮脇さんにバトンタッチできて、大変感謝しています。会長就任の年の二十周年記念行事は、嬉しさと楽しさが重なった様な式典でした。神樹の会の大きな花が咲きましたね。次はあの大震災から皆が立ち上がってくれた嬉しさです。バザーは場所もハーバーランドに移りましたが、周りの心配をよそに地域の人も驚くぐらいの大成功を収めました。どん底の時に皆の力が発揮されたことがうれしかったですね。

陰の力に支えられて

司会　先生の活動は奥様の陰の力があればこそでしょうか。

水野　（笑いながら）支えられないとぶっ倒れます。はは!!

司会　とってもステキな方だとお聞きしていますが、何かなさっておられるのでしょうか。

水野　専業主婦です。介護制度のない時代、両親を看取ってくれました。特に私の両親とは一緒に住み、よく世話をしてくれました。だから頭があがりません。（笑い）

司会　やはり苦労を見せない素敵な方ですね。

P　つらい事がいろいろあった時、先生が「頑張っているか」と声をかけて下さるのが、とても励みになりました。

水野　人はもちつもたれつで、支えあえば大きな幹になります。揺れながらも重心は保っている。子どもの幸せの為にが主流にね。

ウーマン・パワーを発揮して

司会　これからの会員に思うこと、望むこと等アドバイスをお願いします。

水野　今ある会の事業を大切にしてほしいです。目的は療護施設建設であり、道はいくつかあるが、事業が新しく出来たり、統廃合があるかもしれない。バザーを基金にして療護施設をつくっていく方向で…。皆も年をとるが、新しい人のことも考えなければなりませんね。皆さんのリフレッシュも大切だし、お母さん達の親睦を深める様ないろんな行事も考えて欲しいですね。

P　先生とバス旅行にご一緒したことがありましたね。

水野　我々の資金源は市の補助・バザー・寄付・会費ですね。震災前に重度障害者施設設置基金を作ったけれど、新しい人はあまり知らないと思います。我々の大きな目標を知ってもらって力を蓄積していって欲しいですね。

P　ウーマン・パワー発揮ですね。

水野　老マンにならないように、リフレッシュもしないとね。（笑い）

司会　そして皆の和も大切ですね。

水野　二宮尊徳を校訓にしている学校に行ったことがあってね。尊徳の家にはクワがなく、川向こうの隣人に借りに行くと隣人は畑を耕していました。そこで尊徳は隣人の畑を一緒に手伝うことにし、その結果早く終わり、隣人は喜んでクワを貸してくれたということです。

P　求めるだけではいけないということですね。

水野　今の社会をつくった人達は、向こう三軒両隣を大事にしていた様に思う。両隣の友生・垂水両校のPTA・OBが協力し合うこと。毛利元就の「三本の矢」あれを思い出して欲しいですね。友生・垂水・OB各々一本の矢では弱いということを…。

「命は有限　会は無限」

司会　最後に皆さんにひとこと。

水野　「初心を忘れず」にやっていって下さい。

「命は有限、会は無限」いろいろ振幅はあるでしょうけれど、頑張って下さい。

司会　本日は心あたたまるお話をありがとうございました。

はじめまして

友生養護学校長　田中　等

今年四月に灘区の烏帽子中学校より着任いたしました。養護学校は初めての経験ですが、教職員と一丸になって、肢体不自由児教育の推進に努力したいと思っています。

今、障害児教育に関する諸施策は、以前に比べて年々整備充実されてきたと聞いております。が、しかし、子供達の〝進路〟に関してはまだまだ多くの課題があるようです。

その課題に対して、神樹の会の諸活動が学校の大きな支えになっております。今後とも、ご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

感謝

平成九年五月から六月までに、次の方々より尊い寄付をいただきました。

・高内恒夫様　・川上博様
・県肢体不自由児協会様
・灘中　灘高生徒会様

このゆびと～まれ

励ましに支えられて

坂田　多津子

小、中学校と九年間、地域の学校の普通学級に通っていました。嬉しかったこと、楽しかったことばかりではなく、いたずらされた事も多々ありましたが、まわりのお友達にも励まされ、助けられ卒業することが出来ました。進路志望で本人が垂水養護学校を選びました。親としてはいままで頑張ってきたので、あと三年間一緒に普通校で頑張っていこうと思っていたのですが、毎日子どもが通うのですから本人に任せることにしました。いざとなると養護学校での勉強の内容、お友達とはうまくおつきあい出来るのだろうか等色々と悩みましたが、幸いなことに本人は普通校の時よりも自分を抑えることもなく、のびのびと自分を発揮し、毎日楽しそうに出掛ける姿をみて、親としては子どもに任せてよかったと思っています。

九年間、親も一緒に頑張り、また励まされましたが、本当の悩み等を分かち合うことは難しいように感じました。垂水養護学校に入学をしてからは、親の方も学校で同じ悩みを抱えるお母様方と話し合うことが出来、色々と力づけられ、本当に良かったと思っております。

（垂水養護学校
高等部二年生母親）

OBリフレッシュの昼食会のお知らせ

OBの皆様　お元気ですか！
今秋の11月13日（木）に神戸北野の神戸外国倶楽部にて、バザーの慰労会をかねた、古箏を楽しみながらの昼食会を企画しています。
卒業以来、なかなか会えないあなたと再会し、一時でも豊かな時を共に持ち、語り合えたらと願っています。
では、お会い出来ますのを楽しみに！

訃報

平成九年五・六月に、次の会員の方が亡くなられました。
心よりお悔やみ申し上げます。

織田　恭代様
（平成七年度卒
織田恵理子さんの母親）

これからもお世話になります。

あ・と・が・き

蒸し暑い日が続いていますが会員の皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。健康に気をつけて夏を満喫して下さい。

ご執筆いただきました方々どうもありがとうございました。

（田村　宮口　宮崎　村山　西村
日高　黒田　松岡　小野　宮脇）